

平成26年度 決算

平成26年度の決算は、歳入156億9,896万円、歳出150億5,949万円、差引6億3,947万円で、翌年度への繰越事業に伴う繰越財源6,905万円を差し引いた実質収支額は、5億7,042万円の黒字となりました。

みなさんに納めていただいている税金は29億5,188万円となり、市民税のうち法人分は増加しましたが、個人分や固定資産税・たばこ税等が減少し、市税全体としては前年度と比較して1,253万円減少しました。また、国から交付される地方交付税は前年度より6,930万円減少し、市が自由に使えるお金が減少しました。

平成26年度に実施した主な事業は下記のとおりです。

このほか、奈良県市町村財政健全化支援事業を活用し、高利な地方債を無利子の貸付金に借換え、後年の公債費の抑制に努めました。

一般会計決算

歳入	歳出	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支額
156億9,896万円	150億5,949万円	6,905万円	5億7,042万円

実施した主な事業（一般会計）

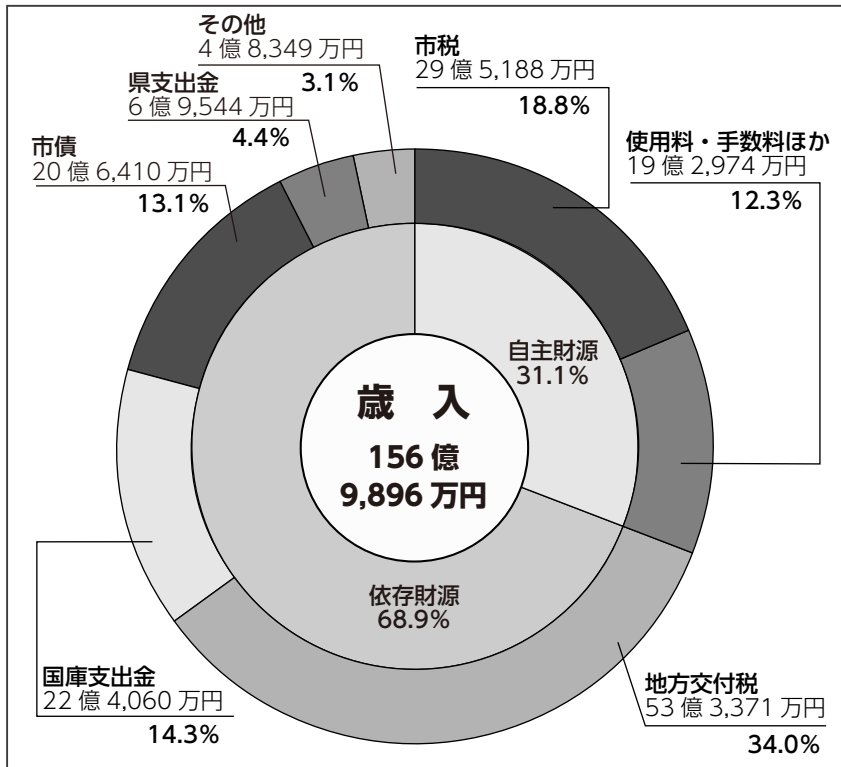
総務費	○駅前整備事業 近鉄御所駅前広場の有効活用と利便性向上のため、予備設計案を策定しました。	2,783万円
民生費	○臨時福祉給付金事業 ○子育て世帯臨時特例給付金事業	1億440万円 2,142万円
衛生費	○中間処理施設整備事業 旧クリーンセンターの移設に伴い、事務所棟・ストックヤード等の建設を行いました。	3億3,147万円
農林業費	○有害鳥獣対策事業 有害鳥獣を駆除するための補助を行い、農産物の保護に努めました。	346万円
商工費	○旧名柄郵便局改修事業 地域活性化のため、大正時代から現存する旧郵便局舎の改修を行いました。	4,183万円
土木費	○（仮称）葛城98号線整備事業	3,667万円
消防費	○消防ポンプ車更新事業 耐用年数の経過した消防団の消防ポンプ車3台を、災害時の援助機能を持たせた多機能型消防ポンプ車に買い換えました。	5,022万円
教育費	○学校耐震補強事業 掖上小学校校舎の耐震補強工事にかかる設計、および秋津小学校校舎の耐震補強工事を行いました。 ○アザレアホール空調設備改修事業 ○（仮称）文化交流センター整備事業 旧小林ふれあいセンターを改修し、生涯学習・文化芸術活動の拠点として整備を行いました。 ○市民運動公園整備事業 グラウンドの人工芝化を実施しました。	4,367万円 1億3,608万円 1億4,717万円 2億4,589万円

市税や地方交付税が減少傾向にある一方、医療・福祉等さまざまな行政サービスに対応していくためには今後も厳しい財政状況が予想されます。

歳入の確保・歳出の節減合理化に努め、計画的な財政運営を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成 26 年度「一般会計決算」についてお知らせします。

一般会計決算 歳入総額 156億9,896万円



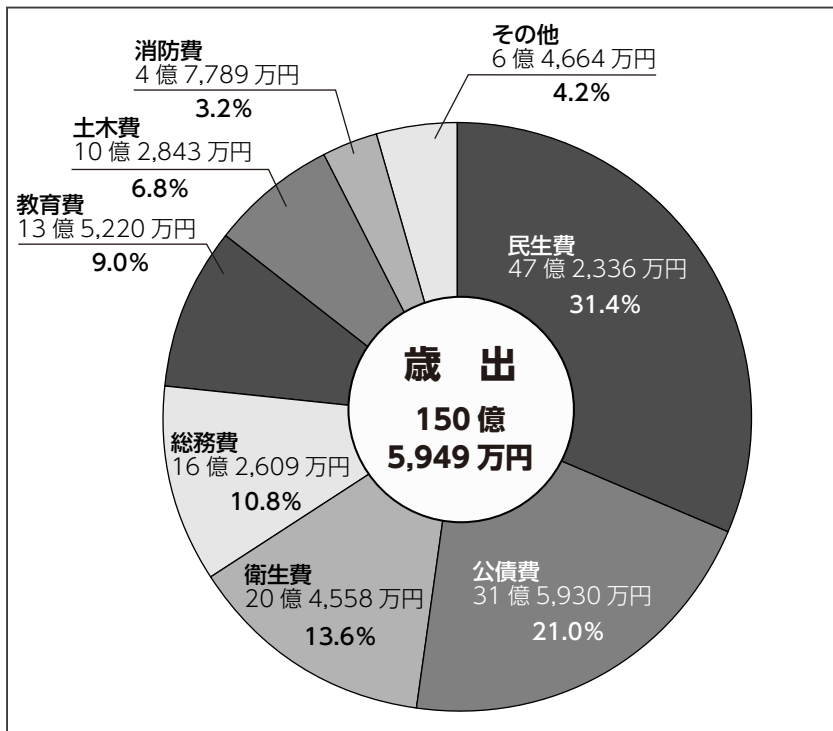
◎歳入

…市に入ったお金 (収入)

- 市税…市に納めていただいた税金
- 地方交付税…国が徴収した税金 (所得税など) の中から市の財政状況に応じて交付されたお金
- 市債…大きな事業を行うときに、国、県及び金融機関などから借り入れたお金
- 国庫支出金・県支出金…市が行った特定の事業に対して国や県から受けたお金

- ☆自主財源…市が自主的に収入できたお金
- ☆依存財源…国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりしたお金

一般会計決算 歳出総額 150億5,949万円



◎歳出

…市が使ったお金 (支出)

- 民生費…高齢者、障害者、児童などの医療・福祉などに使ったお金
- 公債費…市債 (借金) を返済するために支払ったお金
- 衛生費…保健衛生、健康管理、ゴミ処理などの生活環境に使ったお金
- 総務費…市役所の管理運営、課税徴収、住民窓口、選挙、統計などの事務に使ったお金
- 教育費…小・中学校、幼稚園、社会教育、文化施設などに使ったお金
- 土木費…道路、公園、市営住宅などの整備や事務に使ったお金
- 消防費…消防・防災活動に使ったお金

■問い合わせ先 行革財政課 ☎62-3001 (内線232・233)

▶「平成26年度決算」については、市のホームページでもご覧いただけます。

□ <http://www.city.gose.nara.jp/gyousei/zaisei/index.html>

平成 26 年度
一般会計決算額を
市民 1 人あたりで
見てみると…

平成26年度一般会計決算額を、住民基本台帳人口2万7,804人（平成27年3月31日現在）で割り、市民1人あたりの収入や、かかった経費（支出）を算出しました。

収 入	56万4,630円	(内、市税収入額10万6,167円)	
支 出 【 経 費 】	54万1,630円	(内訳)	
		民生費	16万9,881円
		公債費	11万3,627円
		衛生費	7万3,572円
		総務費	5万8,484円
		教育費	4万8,633円
		土木費	3万6,988円
		消防費	1万7,188円
		その他	2万3,257円



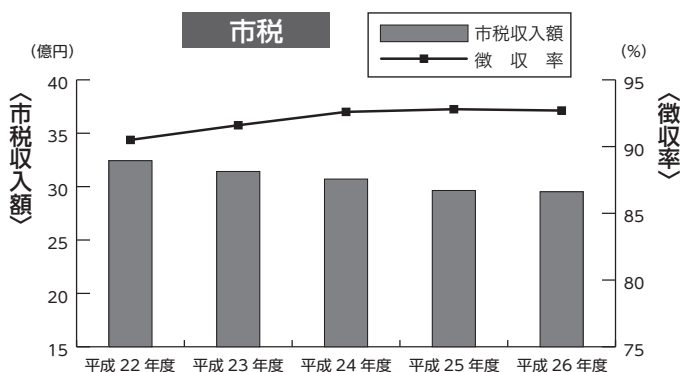
《一般会計》

市税・市債残高・基金残高から見る

財政状況

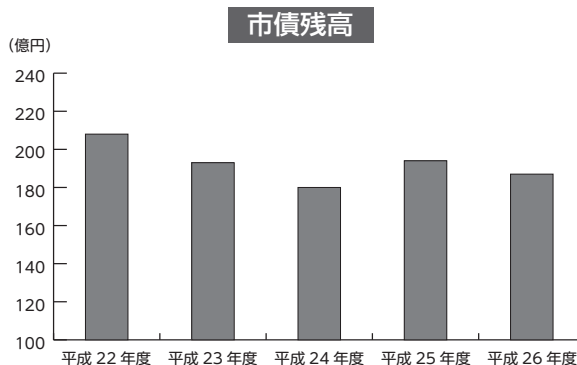
市税の状況

御所市の市税には、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税があります。平成26年度においては、市民税のうち法人分は増加しましたが、人口減少等により個人分が減少しました。また、固定資産税および市たばこ税も減少し、前年度と比較すると1,253万円の減収となりました。



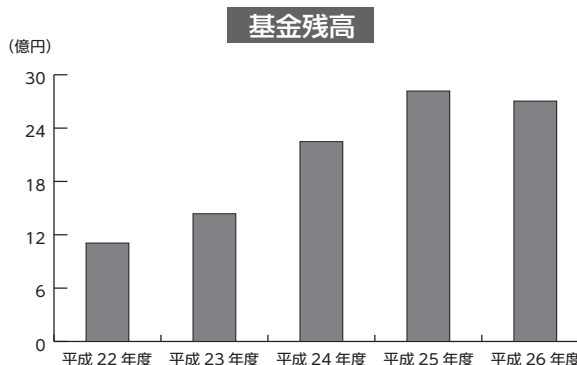
市債残高の状況

市の借金である市債の残高については、新規発行の抑制や繰上償還の実施により減少してきましたが、平成25年度に土地開発公社解散に伴う負債の整理のために第三セクター等改革推進債(21億8,000万円)を発行したため、一時的に増加しました。平成26年度は新たに20億6,410万円を発行し、27億7,458万円を償還したため、残高は187億1,283万円となりました。



基金残高の状況

市の貯金である基金は、中間処理施設建設及び損害賠償請求事件に対応するため取崩を行い、平成26年度末残高は27億378万円となりました。



■ 問い合わせ先 行革財政課 ☎ 62-3001 (内線232・233)

▶ 「平成26年度決算」については、市のホームページでもご覧いただけます。

□ <http://www.city.gose.nara.jp/gyousei/zaisei/index.html>

各種指標から見る 財政の健全度

平成26年度の一般会計の実質収支は黒字となっていますが、果たして健全な財政運営ができていますでしょうか？各種指標を使って見てみましょう。

※「早期健全化基準」とは、いわゆるイエローカードのことで、この基準を超えると「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化に取り組みなければなりません。

健全化判断比率	項目	用語説明	平成26年度 (御所市)	早期健全化基準(※)
	実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	—	13.84%
	連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	—	18.84%
	実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	15.6%	25.0%
	将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	150.8%	350.0%

「健全化判断比率」は早期健全化基準以下となっています。しかし……

●**経常収支比率**（経常的な収入で経常的な支出をまかなえているかを見るための指標）は、**104.2%**。
平成25年度決算に引き続き、100%を超えています。

100%を超えると臨時的収入（特別交付税等）、基金（貯金）の取崩が必要な状況となります。

平成 26 年度「会計別決算」についてお知らせします。

会計別決算額

（単位：万円）
〔△はマイナスを表します。〕

会計名	歳入 A	歳出 B	差引 C = A - B	繰越額 D	実質収支額 E = C - D	単年度 収支額	前年度 実質収支額	
一般会計	156億9,896	150億5,949	6億3,947	6,905	5億7,042	316	5億6,726	
特別会計	国民健康保険事業	37億1,259	41億4,363	△4億3,104	0	△4億3,104	△7,806	△3億5,298
	学校給食費	8,393	8,398	△5	0	△5	5	△10
	国民宿舎葛城高原ロッジ	9,414	9,356	58	0	58	5	53
	下水道事業	7億1,892	7億1,869	23	23	0	0	0
	介護保険事業	32億814	31億8,837	1,977	440	1,537	△635	2,172
	後期高齢者医療保険事業	3億7,103	3億7,070	33	0	33	116	△83

企業会計	会計名	収入 A	支出 B	当年度純損失 C = A - B	その他未処分利益 剰余金変動額 D	前年度繰越欠損金 E	当年度未処分利益 剰余金 F
	水道事業会計 (収益的収支)	9億5,315	9億9,809	4,494	15億606	1億205	13億5,907

※当年度未処分利益剰余金 (F)は、会計制度改正に伴い工事負担金等の資本剰余金の振替えにより、「その他未処分利益剰余金変動額 (D)」が計上されたため増加するのであって、現金が増えるわけではありません。

■特別会計・企業会計■

特定の事業を行い、一般会計とは別に会計を行うのが特別会計です。

また、企業会計とは経済活動を一定の方式によって行う会計で、御所市では水道事業会計がこれにあたります。